

■8月6日

国交省、タブレット端末、EFBとして使用承認へ

国交省はこのほど、航空会社の運航乗務員が「iPad」などタブレット端末を運航中に電子マニュアル等として使うことができるように、エレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)に関する規則を緩和する方針を決めた。これに伴い、パイロットがタブレット端末をEFBとして使用する際の技術承認基準を作成、9月上旬にも関連通達を改正する。

また、同省は、航空法によって搭載が義務付けられている規程類などの書類については、同規制緩和の一定期間の評価を実施し、安全性などを確認した後、タブレット端末へ一本化することで紙媒体を廃止できるようにする方針だ。

因みに全日空は既にパイロットへのipadの配布を完了している。

(日刊航空)8/6

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0806-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0806-02.pdf>)

チェジュ航空(LCC)、成田線、就航1か月、L/F85%

済州航空は5日、先月4日から運航開始した成田—仁川線が、4日までに2万人余りの利用者があり、搭乗率は平均85%であったことを明らかにした。また、5日現在の予約率も80%を上回り予約数が好調に推移しているという。同路線は、韓国と日本国籍の7航空会社が一日約20便運航している激戦区で、済州航空は、使用機材ボーイング737-800型で、一日2便、週14便を運航している。

中央日報によると、済州航空側は「日本人の乗客比重が約49%で韓国の乗客とバランスが取れて分布しており、同じ期間の5つの日本路線の日本人比率46%よりも3%ポイント高かった点も成功要因だ。全般的に韓国を訪問する日本人観光客が減少しているなかで、日本現地での多様なマーケティング活動で序盤から認知度をアップさせたため」としながら「該当路線の最も強力な競争相手であった日系LCCのエアアジアジャパンが、ANAとエアアジアの提携解消により10月27日から成田—仁川路線で運航の中断を検討しているなど好材料もつづいている」と明らかにした。

(中央日報)8/5

<http://japanese.joins.com/article/688/174688.html?servcode=300§code=300> (-> <http://japanese.joins.com/article/688/174688.html?servcode=300§code=300>)

西日本鉄道、福岡から佐賀空港への直行高速バス、9月から

西日本鉄道(西鉄)は9月から、佐賀空港と福岡市の天神・博多間を結ぶ直行バスの運行を始める。春秋航空(LCC)の上海便運航に合わせ、週3往復を予定。上海便は、在日中国人やビジネス客など福岡都市部からの利用が多く、利便性が高まることで搭乗率アップが期待される。

運行開始は9月2日。春秋航空の運航日に合わせ、1日1往復。運賃は佐賀空港—高速基山間が1100円、それ以外は1600円。

佐賀県空港課によると、上海便利用者の半数は福岡県在住者で、県は複数のバス会社に直行便の運行を求めている。上海便は昨年秋からの尖閣諸島問題の影響が続いており、4~6月平均搭乗率は53.7%にとどまっている。

(佐賀新聞)8/6

http://www.saga-s.co.jp/news/saga_0.2526311.article.html (-> http://www.saga-s.co.jp/news/saga_0.2526311.article.html)

(レスポンス)8/5

<http://response.jp/article/2013/08/05/203726.html> (-> <http://response.jp/article/2013/08/05/203726.html>)

ヴァージン・オーストラリア(LCC)、2013年度6月期通期決算、純損失計上

(ロイターによると)

格安航空会社ヴァージン・オーストラリア・ホールディングスは5日、2013年度6月期通期決算で純損失を計上する見通しであることを明らかにした。事業環境が厳しいことや、新しい発券システムおよび炭素税を含むコストがかさんだことを理由に挙げた。

同社は税引き後の損益は9500万—1億1000万豪ドル(8465万—9802万ドル)の赤字になるとの予想を発表。損失のうち500万—1000万豪ドルは、スカイウエスト航空の買収費用だという。

(ロイター)8/5

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0G607W20130805> (->

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0G607W20130805>)

EU、アメリカン航空とUSエアウェイズの合併計画承認、条件付きで

(ロイターによると)

欧州委員会は5日、米AMR傘下のアメリカン航空とUSエアウェイズによる110億ドルの合併計画を承認した。承認の条件となっていた英ヒースロー空港と米フィラデルフィア空港の発着枠返上などで両社が合意した。

アメリカン航空とUSエアの合併をめぐることは、欧州委が大西洋航路の競争維持に関する懸念を表明したことを受け、両社が前月、ヒースロー空港とフィラデルフィア空港の発着枠を返上する案を提示していた。

欧州委員会によると、両社は、ヒースロー・フィラデルフィア間の路線に対する他社の参入を促すことでも合意した。

(ロイター)8/6

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE97401Y20130805> (->

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE97401Y20130805>)

ジェットブルー(LCC)、プレミアシートを導入

米格安航空会社ジェットブルーは、一部保有機にプレミアムクラスの座席を追加する計画を立てている。フルサービスの航空大手が復活、超格安航空会社が台頭する中で、競争力を保つために従来の格安航空業務から大きく方向を転換する。

5日に新たな座席の詳細を発表することになっている。プレミアム座席は機体の前部に設置される。座席を倒せばあおむけに寝ることもできる。WSJが報じた。

プレミア座席はスイートと呼ばれ、座席は通路と引き戸で仕切られプライバシーが守られる。また、プレミアムクラスでは食事とアルコールが無料提供される。

導入は来年度から、ニューヨークからロサンゼルス、サンフランシスコ線という高利用率路線から展開される予定だ。

(WSJ)8/5

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324513804578649452311618468.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324513804578649452311618468.html>)